

## ヨハネによる福音書 6章 34～59節

6

<sup>34</sup>そこで、彼らが、「主よ、そのパンをいつもわたしたちにください」と言うと、<sup>35</sup>イエスは言われた。「わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。<sup>36</sup>しかし、前にも言ったように、あなたがたはわたしを見ているのに、信じない。<sup>37</sup>父がわたしにお与えになる人は皆、わたしのところに来る。わたしのもとに来る人を、わたしは決して追い出さない。<sup>38</sup>わたしが天から降<sup>くだ</sup>って来たのは、自分の意志を行うためではなく、わたしをお遣わしになった方の御心<sup>みこころ</sup>を行うためである。<sup>39</sup>わたしをお遣わしになった方の御心とは、わたしに与えてくださった人を一人も失わないで、終わりの日に復活させることである。<sup>40</sup>わたしの父の御心は、子を見て信じる者が皆 永遠の命を得ることであり、わたしがその人を終わりの日に復活させることだからである。」

<sup>41</sup>ユダヤ人たちは、イエスが「わたしは天から降<sup>くだ</sup>って来たパンである」と言われたので、イエスのことをつぶやき始め、<sup>42</sup>こう言った。「これはヨセフの息子のイエスではないか。我々はその父も母も知っている。どうして今、『わたしは天から降<sup>くだ</sup>って来た』などと言うのか。」<sup>43</sup>イエスは答えて言われた。「つぶやき合うのはやめなさい。<sup>44</sup>わたしをお遣わしになった父が引き寄せてくださらなければ、だれもわたしのもとへ来ることはできない。わたしはその人を終わりの日に復活させる。<sup>45</sup>預言者の書に、『彼らは皆、神によって教えられる』と書いてある。父から聞いて学んだ者は皆、わたしのもとに来る。<sup>46</sup>父を見た者は一人もいない。神のもとから来た者だけが父を見たのである。<sup>47</sup>はっきり言うておく。信じる者は永遠の命を得ている。<sup>48</sup>わたしは命のパンである。<sup>49</sup>あなたたちの先祖は荒野でマナを食べたが、死んでしまった。<sup>50</sup>しかし、これは、天から降<sup>くだ</sup>って来たパンであり、これを食べる者は死なない。<sup>51</sup>わたしは、天から降<sup>くだ</sup>って来た生きたパンである。このパンを食べるならば、その人は永遠に生きる。わたしが与えるパンとは、世を生きかすためのわたしの肉のことである。」

<sup>52</sup>それで、ユダヤ人たちは、「どうしてこの人は自分の肉を我々に食べさせることができるのか」と、互いに激しく議論し始めた。<sup>53</sup>イエスは言われた。「はっきり言うておく。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの内に命はない。<sup>54</sup>わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を得、わたしはその人を終わりの日に復活させる。<sup>55</sup>わたしの肉はまことの食べ物、わたしの血はまことの飲み物だからである。<sup>56</sup>わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、いつもわたしの

内におり、わたしもまたいつもその人の内にいる。<sup>57</sup>生きておられる父がわたしをお遣わしになり、またわたしが父によって生きるように、わたしを食べる者もわたしによって生きる。<sup>58</sup>これは天から降<sup>くだ</sup>って来たパンである。先祖が食べたのに死んでしまったようなものとは違う。このパンを食べる者は永遠に生きる。」<sup>59</sup>これらは、イエスがカファルナウムの会堂で教えていたときに話されたことである。